

12年度 決算報告

今年も四月九日に北九州市役所にて平成十二年度の決算報告を無事に終え平成十三年度の申請をさせていただきました。年度末決算を終えると「あゝやっとな年が終わったなあ」と一息つけます。

『さわやか』も今年で五年になります。これもひとえにボランティア様のおかげだと感謝致しております。

表1に平成十二年度の活動状況をまとめております。皆様それぞれご意見ごももあるとは思いますが、事務所にておうかがい致しますので、ご遠慮なくご連絡ください。

おかげさまで年々ボランティア様の数も増え利用者にとってありがたいの一言です。しかし、ボランティア様にも利用者の方にもまだ待っていただいている方もあります。こんなにボランティア様が沢山おられるのと思われませんか、ボランティア様の条件と利用者の条件がなかなか合わずに待っていただいております。

〔表1〕「さわやか」八幡・小倉事業所
《12年度活動状況》

会員総数	226人
ボランティア登録数	145人
実働ボランティア数	78人
利用者登録数	74人
実利用者数	44人
送迎回数	5,937回

(平成12年4月～平成13年3月)

も含んでおります。送迎回数にしても、年間約六千回です。大変な数だと思えます。月にして五百回です。活動は月に一回の方から月に四十八回の方までいろいろなボランティア様がおりますが、そのお一人お一人のこつこつとしていただいた地道な活動の証です。

『さわやか』としては大切にしていきたい数です。決して目立たない！地道に細く長くやっていくボランティア活動をこれからもよろしくお願い致します。

『さわやか』もこの五周年を機にボランティア様に居心地の良い場所を提供しながらボランティア様と一緒に頑張っていきたいと思っております。

講演会「ボランティアと奉仕活動について」

北九州通院介護センター「さわやか」江頭博幸会長の講話を今年度第一回研修としてうかがいました。

「さわやか」を全国に先駆けて通院介護センターとして開所され、ご苦労されてきた実績からうまれた生のお話でした。

ボランティアという概念は元々日本にはなかった事、奉仕という事とは根本的に違うこと、また、阪神淡路大震災の折のボランティア活動がいかに日本人のボランティア意識を変革したか等ボランティア活動の入門編とも言うべきお話でした。実際にボランティアとして活躍なさっている皆さんは、なるほど納得したり、同感/とうなづいたり、とても有意義なお話をうかがいました。

これからのボランティア活動をされる上で、一人一人の生活の中でどう意識してゆくか参考になるものと思われま

ステップ福岡 No.13より



つぶやきカード

平成12年末に、新聞紙上で“送迎ボランティア”関連記事を読んで、定年退職後、今年2月1日からこのボランティアを始めて、ほぼ3ヶ月間過ぎました。

現在ほとんどトラブルもなく少しでもお役に立っているかなと感じています。

世の中、助け助けられ“心身の健全”を保ちながらより長く続けられればと願っています。

八幡西区 神田正巳

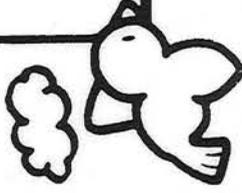
編集後記

五月では初めての台風第一号 沖縄上陸。小泉内閣のかつてない支持率と話題はつきません。 “一味違った首相”に国民は関心をもって見えています。 台風のように温帯低気圧に変わらないう、今の勢いで全力で取組んでもらいたいものです。





ムダのないくらしのための 省エネのアイデア集



冷暖房機器の使用時

建物の構造、部屋の大きさなどに合ったものを選ぶのが効果的。

カーテンやブラインドを用いて、窓の断熱効果を高める。また、扇風機を上手に活用して、部屋の空気を循環させる。

エアコン

冷やし過ぎ、暖め過ぎは禁物。室温は、夏28℃、冬20℃を目安に。ドライ機能を使って除湿すると、同じ室温でも涼しく感じる。

フィルターを、2週間に1回は掃除すること。室外機は、風通しの良い所に設置し、冷房時には日除けをつける。

◆エアコンでは、インバータタイプを使用すると、消費電力を抑えた優れた省エネ性能を発揮する。

テレビ

テレビをつけっぱなしにしない。見ていない時には消す習慣をつける。寝る前など、長時間見ない時には、主電源を切る。

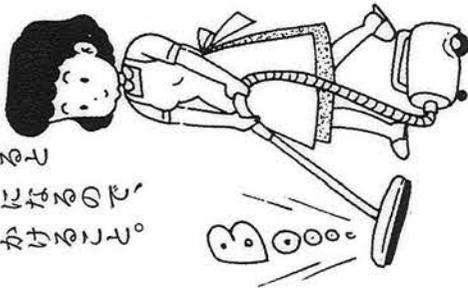
適度な画面の明るさや音量で使用する。寝る前など、長時間見ない時には、主電源を切る。適度な画面の明るさや音量で使用する。明る過ぎ、大き過ぎは、余分な電力がかかりムダ。ブラウン管のふき掃除も忘れずに。

掃除機

集じん袋のゴミは、早めに捨てる。ゴミがたまると吸引力が落ち、モーターに負担がかかるので、余分に電気を消費する。フィルターもきれいにしておくこと。

適切な「強」「弱」の使い分けを行い、エネルギーのムダを省く。

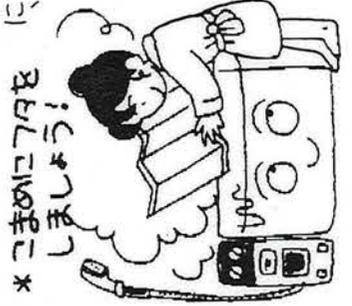
◆掃除機はスイッチのオンとオフをし過ぎると電気のムダ遣いになるので、掃除機は一気にかけること。



風呂

風呂の水張りは、水温より気温の方が高い夏は午前中に。冬は逆なので沸かす直前に行く。

浴槽にフタをして沸かし、沸いたら家族が続けて入浴するようにして、追い炊き、二度炊きを減らす。お湯が冷めないように、こまめにフタをする。沸かし過ぎ、水の入れ過ぎには、くれぐれも注意すること。



冷蔵庫

食品の詰め込みすぎに注意。冷気の循環が悪くなるので、無駄な電気を使うことになる。

熱いものは冷ましてから入れ、ドアの開閉は素早く行う。そのためにも、庫内はいつも整理しておく。ドアパッキングに、すき間ができていないかチェックする。傷んでいると冷気が逃げてしまうので、早めの交換が必要になる。

冷却力が落ちるので、直射日光の当たる場所に設置しない。また、ストーブなどを近くに置かない。

◆冷蔵庫は省エネ化と大型化が同時に進行しているが、それでも家庭の消費電力の2割を占めるといわれる。

洗濯機

洗濯機は、容量の80%を目安にまとめて洗った方が効果的。

洗剤の入れ過ぎは、すすぎに余計な時間がかかり、水と電気のムダ遣い。ためすすぎは注水すすぎに比べ、水の使用料が少なくて済む。二槽式洗濯機の場合、中間脱水をすれば、節水効果はさらにアップする。風呂の残り湯を利用すれば、汚れ落ちも良くなり、水も節約できて、一石二鳥。

照明器具

電球や蛍光灯、電気の傘などを定期的に掃除する。蛍光灯は、管の両端が黒ずんできたら早めに取り替える。使っていない部屋の照明など、ムダな明りは消す。屋外灯は、自動点滅器を使うと、消し忘れも無く、無駄が省ける。

蛍光灯は、電球に比べ寿命が長く、消費電力も少なくて済むので場所に応じて使い分けたい。インバータ式の照明器具は、省エネ効果が高い。